

科目分類	専門分野Ⅱ	学 年	2 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	小児看護援助論Ⅱ (健康障害をもつ小児 の看護)	学 期	後 期	山本 祥子 (看護師) 杉内 友美 (看護師)
		単 位 数	1	
		時 間 数	30	
目 的 (ねらい)	健康障害が子どもの成長発達や家族機能に及ぼす影響について学ぶ。また子どもの特性をふまえた上で、病態・症状・看護を関連付けて学ぶ。			
目 標	1. 健康障害や入院が小児や家族に及ぼす影響について考える。 2. 発達段階や疾病の経過に適した看護について理解する。 3. 健康障害を持つ子どもおよび家族に対するアセスメントの視点を理解する。			
授 業 計 画	回数	単元項目	内 容	授 業 形 態
	1	疾病や障害が小児と家族に及ぼす影響①	疾病・障害に対する子どもと家族の反応	講義
	2	疾病や障害が小児と家族に及ぼす影響②	小児の健康問題と看護	講義
	3	小児のフィジカルアセスメント①	子どもへの接近法、バイタルサイン 一般状態のアセスメント	講義
	4	小児のフィジカルアセスメント②	身体的アセスメント	講義
	5	小児に特有な症状と看護①	一般状態、痛み、呼吸・循環の症状 発熱	講義
	6	小児に特有な症状と看護②	消化器症状、水分・電解質異常 神経・筋症状、その他	講義
	7	小児看護に必要な技術①	検査、与薬、罨法、清潔	講義/デモスト
	8	小児看護に必要な技術②	排泄、呼吸器症状の緩和、蘇生法	講義/デモスト
	9	疾病・治療に応じた看護①	先天性疾患、代謝性疾患、内分泌疾患 アレルギー疾患の看護	講義
	10	疾病・治療に応じた看護②	呼吸器疾患、眼・耳鼻疾患の看護	講義
	11	疾病・治療に応じた看護③	循環器疾患、血液疾患の看護	講義
	12	疾病・治療に応じた看護③	消化器疾患、悪性新生物の看護	講義
	13	疾病・治療に応じた看護④	腎疾患、神経疾患、精神疾患の看護	講義
	14	疾病・治療に応じた看護⑤	運動器疾患の看護、事故と外傷	講義
	15	まとめ		講義/演習
教 科 書	系統看護学講座専門Ⅱ 小児看護学① 医学書院			
参 考 文 献	写真でわかる小児看護技術、発達段階から見た小児看護過程			
評 価 方 法	定期試験 100% 杉内教員(50点)、山本教員(50点) 合計100点満点での結果を最終評価とする。			
関 連 科 目	解剖生理学・心理学・社会学・社会福祉と法規・保健医療論・小児看護学概論・母性看護学・精神看護学			
自 己 学 習 に 関 する 指 針	小児期の児と関わる機会があれば、成長・発達段階を意識して関わる。 新聞、テレビ等から、現代の子どもが置かれている環境の情報を得る。			
そ の 他 の 通 知 事 項	随時質問に応じる。			